【川崎協同病院　医師臨床研修の理念・基本方針】

　川崎協同病院では高い医療技術を提供できるだけではなく、患者の立場に立って命と人権を守ることができる医師を育てるために、以下のような理念・基本方針を持って医師養成にあたっています。「初期研修」の 2 年間ではすべての医師にとって必要な基本的な力量を身につけることを重視しています。

＜医師臨床研修の理念＞

1.　将来の専門分野に関わらず、すべての医師に求められる基本的・総合的力量（知識・技術・態度）を身につけ、生涯学習の習慣を持った医師を養成する。
2.地域の医療機関として、安全性とチーム医療を重視し、地域の人々のために生命と健康を守る医師を養成する。
3.深い社会認識と倫理観、豊かな人権意識を持ち、無差別平等の医療を行うための人格を涵養する。
4.社会的使命と公衆衛生への寄与、利他的な態度、人間性の尊重、自らを高める姿勢という 4 つの基本的価値観を身につける研修を行う。

＜医師臨床研修の基本方針＞

1. 専門性にとらわれることなく、すべての医師に求められる全人的視点と基本的・総合的診療能力を身につける
2. 日常の医療活動を常に学術的に検討するとともに、新しい医学の成果を謙虚に学び、日々の実践に結びつける
3. チーム医療を理解し、そのリーダーとしての役割を果たす
4. 広く社会･医療の情勢に目を向けて医師としての社会的役割を自覚し、患者の受療権や人権を守るための運動に取り組む
5. 後継者育成のため、医学生や後輩研修医のよき相談相手として的確な指導や助言を行う

川崎協同病院